

リンゴ病害虫の発生状況（10月上旬）

（1）リンゴ斑点落葉病

新梢葉での発生ほ場割合は平年並でしたが、一部ほ場では発生程度がやや高い状況でした（図1）。

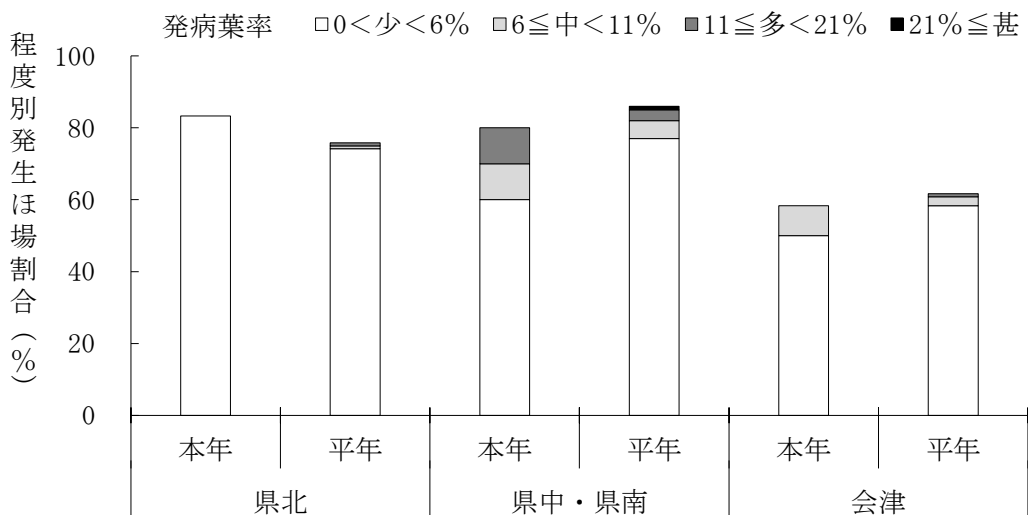


図1 リンゴ斑点落葉病の新梢葉での発生状況（10月上旬）

（2）リンゴ褐斑病

新梢葉での発生ほ場割合は、県北は平年よりやや高く、県中・県南は高く、会津は平年並の状況でした。県中・県南・会津では多発生のは場が確認されました（図2）。

果実での発生は、確認されませんでした。

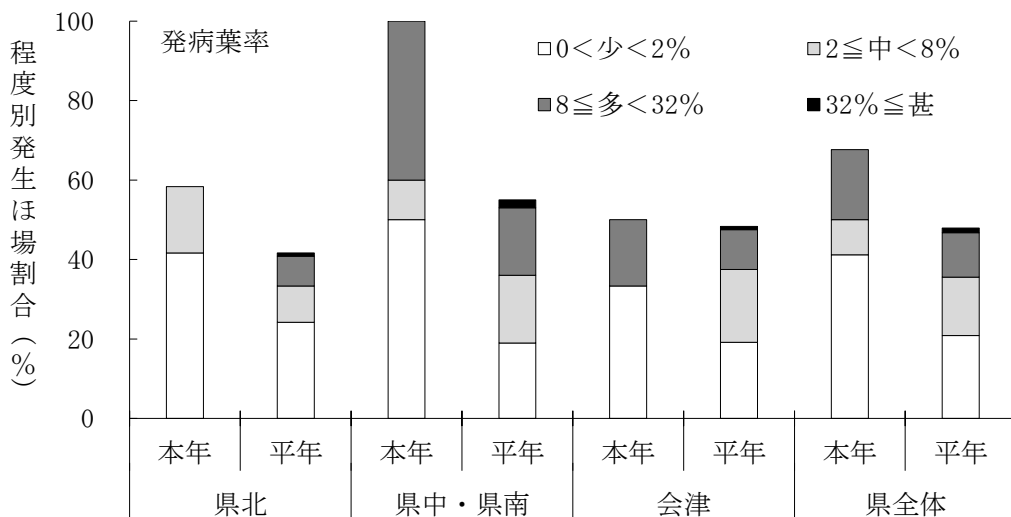


図2 リンゴ褐斑病の新梢葉での発生状況（10月上旬）

（3）リンゴ黒星病

会津地方の一部ほ場で発生が確認されました。

(4) リンゴ炭疽病

果実での発生は、県中・県南の1園のみ確認され、県全体で平年並の状況でした。罹病果は二次伝染源となるため、摘除し園外に持ち出すなど適切に処分しましょう。

(5) リンゴ輪紋病

果実での発生ほ場割合は、県北・会津では平年よりやや高く、県中・県南では高い状況でした(図3)。

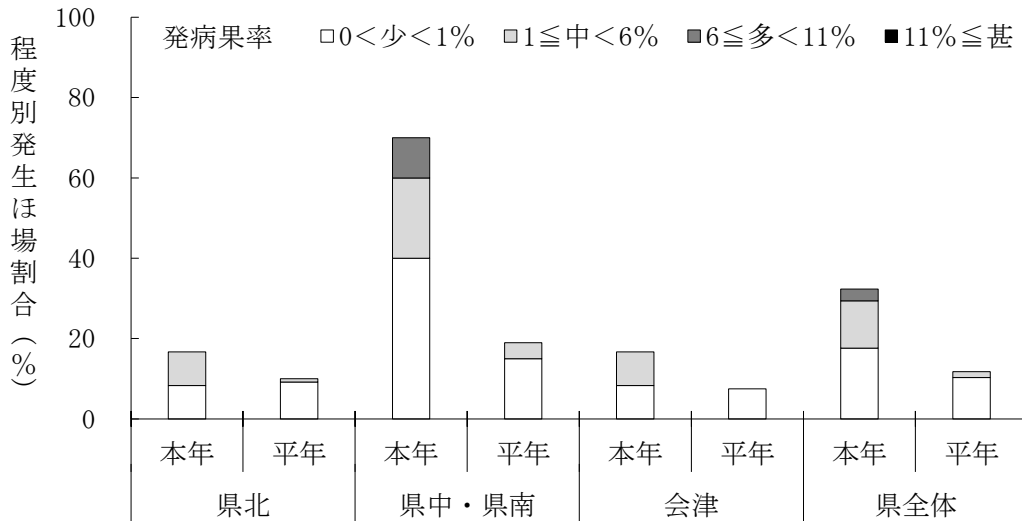


図3 リンゴ輪紋病の果実での発生状況 (9月上旬)

(5) リンゴすす点病、リンゴすす斑病

すす点病及びすす斑病の果実での発生ほ場割合は、県北では平年より高く、県中・県南・会津では平年より少ない状況でした(図4、図5)。

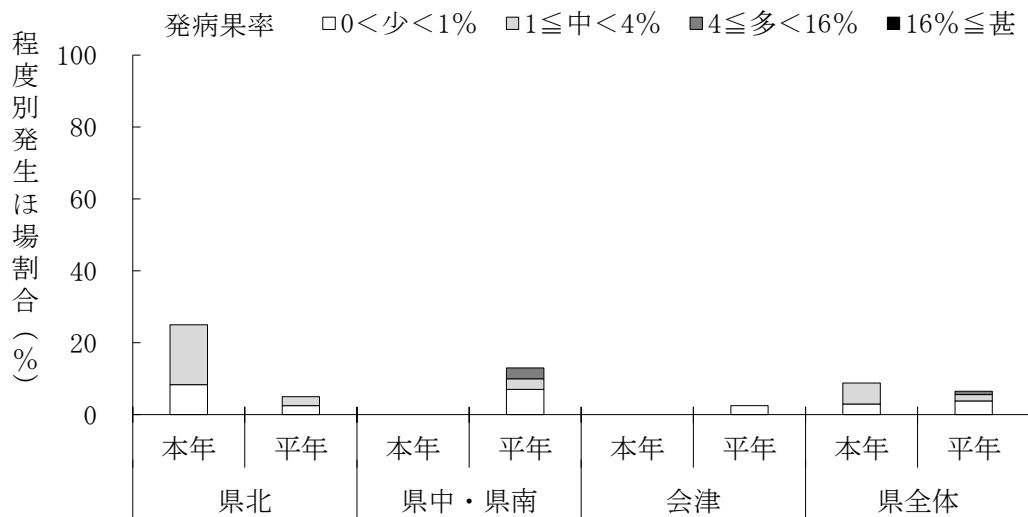


図4 リンゴすす点病の果実での発生状況 (10月上旬)

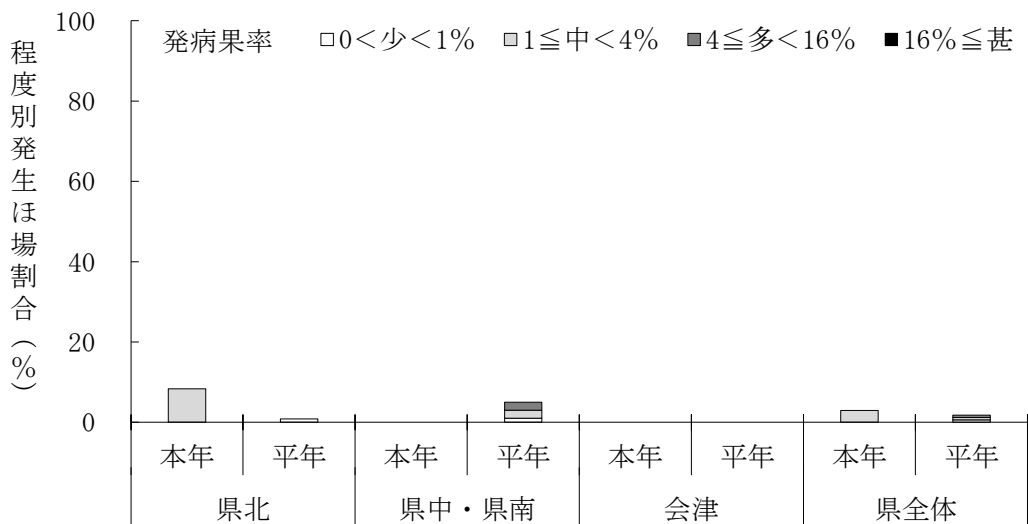


図5 リンゴすす点病の果実での発生状況（9月上旬）

(7) スモモヒメシクイ

果実での発生ほ場割合は、県北では平年よりやや高く、県中・県南・会津では発生が確認されませんでした（図6）。

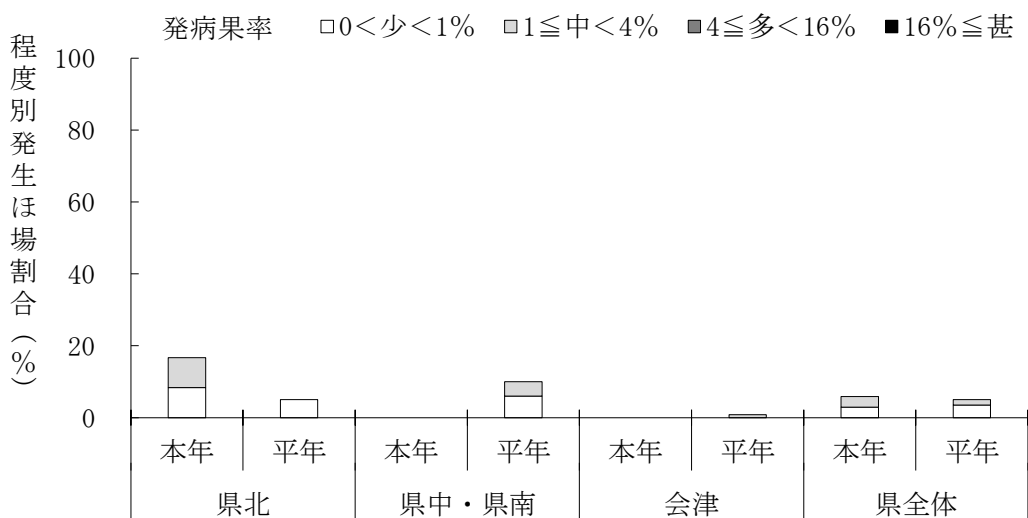


図6 スモモヒメシクイによる果実被害の発生状況（10月上旬）

(6) モモシクイガ

果実での発生ほ場割合は、県中・県南・会津では平年並であり、県北では発生が確認されませんでした。